

散文の基本

阿部昭

散 文 の 基 本

阿部 昭

福武書店



© Akira Abe,
Printed in Japan,
1981

散文の基本

昭和五十六年十一月三十日第一刷発行
昭和五十七年二月五日第二刷発行

著者 阿部 昭

発行者 福武哲彦

発行所 株式会社福武書店

東京都千代田区九段南四一八一八
郵便番号 一〇二一

電話 東京(〇三)二三〇一二三三

振替 東京六一〇五〇九七

印刷 図書印刷株式会社

平版 株式会社栗田印刷

製本 小泉製本株式会社

定価 二〇〇〇円

乱丁・落丁本は、送料小社負担にてお取替えいたします。
ISBN 4-8288-2003-5 C0095

散文の基本
目次

私の文章作法

書くということ

15

待つ・聞く・書く

20

好きな言葉

23

不朽のジャンル

25

恋愛小説のまぼろし

27

笑いたい

30

散文の基本

32

休息の必要

35

外国文学と私

37

老年の仕事

41

昔の言葉

45

男同士の「あなた」呼ばわり

49

淋しい文章

51

私の国語問題

52

読書会にて

55

読者への手紙

59

架空会见記

62

短篇小説論

賈の首飾り モーパッサン

71

チエーホフの星

76

チエーホフの現在

80

日本語のルナール

83

国木田独歩がいた町で
小説の中の自然

89

おのずからの形式
石川啄木

95

陳腐な運命
菊池 寛

99

芥川龍之介の短篇

102

真剣な遊戯 梶井基次郎

118

猫のいる短篇

122

短篇作者の仕事

131

旧著近著

藤枝静男 『或る年の冬 或る年の夏』

145

安岡章太郎 『月は東に』

147

安岡章太郎 『走れトマホーク』

149

尾崎一雄 『あの日この日』

151

山内義雄 『遠くにありて』

アドリエンヌ・モニエ 『オデオン通り』

安吾再読 「白痴」他

浮世の文章 檀一雄 『来る日 去る日』

私のすすめる本 宇野浩二 『芥川龍之介』

題名のことなど 岩田宏 『社長の不在』

三浦哲郎氏の短篇 『拳銃と十五の短篇』他

岡田睦 『ワニの泪』

宇野重吉 『チェーホフの「桜の園」について』

178

176

172

165

163

160

157

155

153

飯島耕一 『別れた友』

阿川弘之 『米内光政』

冥府からの音 五味康祐 『人間の死にさま』

上林暁 『半ドンの記憶』

人物粗描

小説家の死 志賀直哉追悼

風光明媚 河上徹太郎

詩人の母 中原フク

安田謙一郎 私の中の日本人

180

184

187

189

193

197

201

205

| | |
|---------------|-----|
| 阿川さんの印象 | 211 |
| 藤枝さんの調子 | 214 |
| 仕事場の住人 三浦哲郎 | 217 |
| 和田さんの顔 和田芳恵追悼 | 220 |
| 和田さんを偲ぶ | 223 |
| 長谷川修を悼む | 226 |
| 坂の上の家 田村隆一 | 230 |
| 北園さんの装幀 | 233 |
| 嬉しかったこと 上林暁追悼 | 236 |

肉体の悲しみ 河上徹太郎追悼

身辺雑記

ワイエスの「ブランデーワインの谷」

仕事と酒

ムーアの「家族」

読書の楽しみ

実用本位 わたしの衣裳哲学アンケート

ルノワールの「ジャン・ルノワールの肖像」

人間の勝手

238

245

246

249

250

252

253

254

若い精神

257

愛される絵

「永遠の名画秘蔵展」を見て

259

心の家族

261

父と子

266

やせた心

268

見えざる水の力

私の瀬戸内海

272

一期一会

278

あとがき

282

主要著作一覧

284

装丁 大沢昌助

散文の基本

私の文章作法 十七篇

